

一般会計歳入 (対前年度当初比較増減)

区 分	当初予算額(千円)	おもな内容	対前年度増減(%)
市 税	7,298,025	◎市民税 3,340,585 ◎固定資産税 3,242,562 ◎都市計画税 194,986 ◎軽自動車税 72,186 ◎市たばこ税 431,400 ◎特別土地保有税 6,509 ◎入湯税 9,797	6.9
地方譲与税	350,000	◎消費譲与税 100,000 ◎自動車重量譲与税 160,000 ◎地方道路譲与税 90,000	▲ 40.7
利子割交付金	100,000		▲ 28.6
地方消費税交付金	210,000		皆 増
特別地方消費税交付金	10,000		42.9
自動車取得税交付金	150,000		0.0
地方交付税	6,522,789	◎普通交付税 5,722,789 ◎特別交付税800,000	3.0
交通安全対策特別交付金	15,000		0.0
分担金及び負担金	370,525	◎民生費負担金 321,567 ◎下川原地区担い手育成基金整備事業受益者負担金 36,900 ◎衛生費負担金廃止 ▲ 678,012	▲ 63.8
使用料及び手数料	313,806	◎大館樹海ドーム等使用料 39,469 ◎教育使用料 33,311 ◎土木使用料 131,163 ◎総務手数料 29,700	12.1
国庫支出金	2,781,103	◎上川沿小学校改築事業費負担金 278,182 ◎老人福祉総合エリア整備事業費補助金 208,399 ◎スクールカウンセラー活用調査研究費委託金 1,972 ◎土木費国庫補助金 312,303	28.3
県支出金	1,216,334	◎老人福祉総合エリア整備事業費補助金 104,199 ◎市町村母子保健事業振興費補助金 8,604 ◎花岡地区住宅改良事業費委託金 99,224 ◎農林水産業費県補助金 432,245	▲ 23.3
財産収入	105,995		3.7
寄附金	236	◎インターネット設置事業指定寄附金 235	▲ 98.8
繰入金	754,636	◎財政調整基金 250,000 ◎減債基金 50,000 ◎福祉施設整備基金 6,500 ◎教育施設整備基金 335,000 ◎高等教育支援基金 90,000 ◎財産区繰入金 22,123	▲ 33.1
繰越金	300,000		50.0
諸収入	1,075,368	◎中小企業金融対策預託金収入 888,030 ◎地域総合整備資金貸付金収入 36,538	3.9
市債	3,828,500	◎大館樹海ドーム周辺整備事業債 453,700 ◎老人福祉総合エリア整備事業債 853,800 ◎上川沿小学校改築事業債 684,600 ◎臨時税収補てん債 320,000	8.5
合 計	25,402,317		1.1

これからの一年間、市が何の仕事にどれくらいのお金を使うのか、また、そのお金をどこからどのように調達するのか。それをまとめたのが当初予算です。

普段あまり気にとめることのないかたもいらつしやるかもしれません。当初予算には、今年度の大館市がどう運営されるのか、その方針が表れているのです。

今回はこの当初予算について、できるだけわかりやすいように解説してみました。じっくりとご覧ください。

市の平成九年度の一般会計当初予算は二百五十四億二百三十一万七千円。前年度当初予算と比較すると一・一%、金額で二億七千二百七十三万五千円の増となりました。

行政改革の一環として財政運営の効率化が進められ、事務費や人件費といった消費的経費の節減が至上命題となっている今、予算規模は縮小する傾向が強いはずですが、

事実、消費的経費に限って見れば、九年度の一般会計予算では、前年度対比で一億円強の減少となっています。

それにもかかわらず前年度対比で全体額が増えたのはなぜでしょう。

その背景には、五大プロジェクトや三大対策、新三大プロジェクトなどといった、今後の大館市の運命を左右するべき数々の大きな

公共事業の存在があります。投資

した成果が長期間持続する性質を持つこのような事業に使われるお金を**投資的経費**といい、現在、ずば抜けた勢いをもって大規模な公共事業が進められている当市にあつては、この投資的経費の増大は、市勢発展への好材料と見ることができま

「そんなに次から次へと事業に手を出して、大館のどこからお金が出てくるというの？ 足りないお金を市民の税金に転嫁されたらたまつたもんじゃないゾ」と不安をお持ちのかたも多いかもしれませぬ。

でも大丈夫。市が大規模な公共事業を行うにあたっては、国や県などから財源を補助していただいているのです。これは、大館が地域の必要性として必要としている事業の重要性が、国・県にも理解されて